

いのち
を生へのまなざし

西澤

智子展

2002年
12月17日(火)～

2003年
1月13日(月)

開館時間▶午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分迄)

休館日▶月曜日
(年末年始12月29日～1月3日)

入場料▶ 一般 300円
高・大学生 150円
小・中学生 80円

(常設展料含む/団体20名以上2割引)

主催▶町立塩江美術館



Satoko Nishizawa

町立塩江美術館

9761-1611

香川県香川郡塩江町大字安原上602番地

TEL (087) 893-1800 FAX (087) 893-1833

■等電バス(塩江・次改方面行)

高松駅より塩江バスターミナル下車、徒歩5分

■無料駐車場完備



西澤 智子展

こあいさつ

香川の美術界において、今後の活躍が期待されている西澤智子氏の展覧会が当美術館において開催されることとなりました。

絵を基調に繊細な描写で獨り氏の作品は観る者に強い印象を与えます。父西沢日出男氏は、彫刻審査員として活躍していましたが、若くして世を去りました。

そして、今、氏は父と同じく日本画の道を志され、独自の世界を築きつつあります。今回の展覧会を契機に精進を重ねて更なる飛躍を遂げ、ここ香川美術館から香川へ、そしてやがては全国へ発信していただけるものと確信いたしております。

この若き才能の出現を喜ぶとともに温かく見守っていただければ願っております。西澤智子氏の作品をごゆっくりご覧下さい。

個展によせて

西澤智子さんが地元で活動されていることは、後輩達にとって大変刺激になり、また良い目標になるかと思えます。在学中の作品は自然とのかわかりを大切にされ、何でもない所でも構成よくまとめた感性豊かな個性ある作品を描いておられました。卒業制作の「春風」と題した牛二頭の絵は、構図と色感がよく素晴らしい仕上がりで深く印象に残っております。

これからも自然を見つめる純真な心と目を忘れず感動したものを大事にされ、意欲的に感性豊かな作品を創っていかれることを願ひ、益々の活躍を念じております。 京都精華大学教授・日展会員 渡邊信喜



夕陽

私の知っている西澤智子さんは、とても寡黙な人である。彼女が表現した作品もまた過少な候舌を省いた確かな構成力の堅牢な画面で成り立っている。モチーフを象徴的に昇華するということはいないだろうか——私には、そのように思えるのだが、表現された世界はリファインされたフォルムと繊細な色彩とのハーモニーでとても美しい。又、画面が醸し出す静謐な静止した空間と「止まった時間」は、この作家の無窮に対するイメージが伝わってその涼む優しさが暖かい。思うに、この作家が進ぶ主題やモチーフを見て、そこに時まじい調べと真摯な眼差しで染めた筆はこびからは、何故か新月の鈴の言葉が浮かんだ。

ここに第67回香川県展出品の「望郷」という題名の作品がある。香川県教育委員会賞受賞だが、フェニックスに囲まれた園に毅然と立つ冠鶴の鋭い眼差しは真直ぐに遠くを凝視する。それは、画家自身の心証ではないか。又、己の人生行路と創作姿勢を指す強い意志の表象だろうか。そこそこは第66回香川県展出品の著に映えた「夕陽」においても気付いた思いであった。

西澤さんは毎年のように受賞歴を重ねている。この秀でた構成力や早くから身に付けた際立つ筆力は・・・父は画家であった。少なくとも対象を捉える姿勢と明確な視点をもつ創意の感性と云う道伝の系は受け継いだのだろう。そして今、西澤さんは「自然と人工物の融合」に関心をもっていると言うが、この二十一世紀、確かに自然と文明の対比は年々大きく剥き出している。微妙で千変万化な自然の調べとはあまりにも異質で、無臭で、無機質のジオメトリックな造形美は現代の一つの典型の姿に間違いない。西澤さんの魅する筆の完成を楽しみにしながら。

川島 猛



おちちゃんとおひるね



暮れなずむ緑の境

- | 年 | 展覧会 |
|-------|-------------------------|
| 1972年 | 多度津町に生まれる |
| 1991年 | 高松工芸高校美術科卒業 |
| 1994年 | 京都精華大学美術学部造形学科日本画専攻 |
| 1994年 | 第59回県展入選【首羽川】 |
| 1995年 | 第60回県展入選【首羽川】 |
| 1996年 | 第61回県展入選【風船草】 |
| 1997年 | 第62回県展入賞【涼む】 |
| | 【香川県教育委員会奨励賞】 |
| | グループ展「西沢日出男を想ふ展覧会」 |
| | 創作宣言「目の目をしたいさい」 |
| | 表紙・挿し絵担当 |
| 1998年 | 第63回県展入選【暮れなずむ緑の境】 |
| | 第30回国際若手美術展入賞【静寂】 |
| | 【商工労働部長賞】 |
| 1999年 | 第64回県展入選【一閑染】 |
| 2000年 | 第65回県展入賞【おちちゃんとおひるね】 |
| | 【丸亀市教育委員会賞】 |
| 2001年 | 第66回県展入賞【夕陽】 |
| 2002年 | 第67回県展入賞【望郷】 |
| | 文藝「もず」菊池賞記念奨励賞・表紙・挿し絵担当 |



彩ちゃんとおひるね H1.455×W1.121mm

NISHIZAWA SATOKO

Japanese Paintings

12.17 - 1.13
2002 2003